

すいた市民しんぶん

2012.5 MAY

vol.25



万博公園・太陽の塔

画・高宮良子

すいた **今昔**

吹田のシンボル、太陽の塔。歌手の坂本九さんも、この塔の下で「上を向いて歩いた」のかな？

CONTENTS

**緊急
インタビュー**

ハシズムを斬る

吹田自治都市
研究所所長 **二宮 厚美** 神戸大学名誉教授

2

福島はいま

いまも続く 海洋汚染や放射能漏れ

原発再稼働で「明るい未来は」あるのか

8

**アフガン
レポート**

日本の支援金はどこへ

医療や難民の保護より政治家や官僚へのワイロ資金に

12

吹田市3月議会

市民の「きずな」断ち切る「維新型」市政 福祉バス、ショートステイ補助など 廃止決める

7

吹田溺愛主義⑩

森狙仙の「写生」は凄かった 10

なにわの元プロ野球選手③

元阪神タイガース 星野おさむさん 14

いわみせいじのヨコシマ日記⑫ 15

この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。

吹

田のシンボルといえば、やはり万博公園の太陽の塔だろう。高速道路も、マンホールのフタも吹田市のシンボルマークは太陽の塔だ。岡本太郎製作の、あまりにも有名なこの塔の高さは65m、上部で輝く黄金の顔は未来を、胴体部の顔は現在を、そして背後にある黒い顔は過去を表現している。塔が建設されたのは、1970年の大阪万博開催にあわせて。全国から約6千万人の人々が吹田にやって来たのだが、開催前のプレミアムとして有名なもやつて来た。裏表紙の写真、右側の男性は、歌手の坂本九さん。太陽の塔が建設される途中のスナップだ。塔の内部は03年にアンコール公開されたものの、原則非公開。最近では映画「20世紀少年」のプレミアムイベントで、「ともだちの塔」に変身したことも。今でも長期出張などから戻ってきて、この塔を見たとき「あー、故郷吹田に帰ってきた」とホッとする市民も多いのではないだろうか。